

第 2 4 回神奈川県障害者技能競技大会

ビルクリーニング 公開課題

◎ 一般的な注意事項

[共通事項]

1. 課題は、課題 1「カーペット床及び机上清掃」と、課題 2「弾性床清掃及びごみ処理作業」の 2 課題です。最初に課題 1 を行い、場面転換終了後に課題 2 を行います。
2. 2 課題とも、規定時間が定められています。
課題 1：9 分
課題 2：9 分
3. 使用する資機材は、支給されたもの以外は使用できません。
4. イスは折りたたみ式パイプイスとします。
5. 競技採点は、作業準備、作業動作（手順）、仕様誤り、作業態度、作業時間の 5 面から審査し、加点方式によって行われます。
6. 作業に適した服装をしてください。
7. 作業開始の指示は審査員が行います。「始めます」「終わりました」の申告は、競技者自身で行ってください。声を出すことが困難な場合は、挙手のみで構いません。
8. 作業ごとに入退室の際には会釈（軽く礼）をします。競技中は上記以外の声は出さないでください。
9. 所要時間を 1 分以上オーバーした場合は競技を打ち切ります。

◎課題 1：カーペット床及び机上清掃

1. 作業面積は 16 m²（4m×4m）とし、幅木により区画されたものとします。
2. タイルカーペット床の吸塵・机上拭きの作業です。
3. 床のごみは、シュレッダーで裁断した紙で 50mL 程度を撒いたものとします。
4. 幅木の上には壁があるものとして作業を行ってください。
5. 作業場所にある机・三段ボックスは、移動させないでください。
6. 掃除機・タオルは作業用カートに乗せてあります。
7. 使用した資機材は、指定された場所へ片付けてください。

◎課題 2：弾性床清掃及びごみ処理作業

1. 作業面積は 16 m²（4m×4m）とし、幅木により区画されたものとします。
2. 床材質は塩化ビニール系のタイル又は長尺シートの床面とします。
3. 床面の掃き・拭き作業及びごみ処理作業です。
4. 作業に使用する色々な資機材・消耗品は、作業用カートに乗せてあるものを点検してください。
5. モップの柄は、長さが調節できるので、作業前に自分で操作しやすい長さに調節してください。
6. 乾式モップ用クロスは競技者が作業前に取り付けて点検してください。

7. 床のごみは「おがくず」とし 50mL 程度を撒いたものとします。
8. 幅木の上には壁があるものとして作業を行ってください。
9. 作業場所にある机は移動させないでください。
10. 使用した資機材は、指定された場所へ片付けてください。

◎資機材一覧表

(1) 各競技場に準備されているもの

ア. 課題 1 用

品名	寸法又は規格	数量	備考
作業用カート	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1 台	
作業標示板	清掃プラパネルⅡ	1 個	
真空掃除機	ポット型リンレイ RD-ECOⅡN	1 台	
机	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1 台	
イス	パイプ式折りたたみ	1 脚	
三段ボックス	アイリスオーヤマ ワイドチェスト NSW-543	1 台	
タオル	白（乾き拭き）青（水拭き）各 1 枚	2 枚	

イ. 課題 2 用

品名	寸法又は規格	数量	備考
作業用カート	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1 台	
作業標示板	清掃プラパネルⅡ	1 個	
ワンタッチモップ柄	ワンタッチアルミ伸縮柄	1 本	
ラーグ（モップ房）	260g 白色	1 枚	
小型ぼうき	30cm 幅用	1 本	
乾式モップヘッド	台形 63cm	1 枚	
文化ちり取り	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1 個	
ダスタークロス	69cm 幅の不織布	1 枚	
ビニール袋	ごみ箱用替袋	1 枚	
机	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1 台	
三段ボックス	アイリスオーヤマ ワイドチェスト NSW-543	1 個	
ごみ箱	角型	1 個	

(2) 競技者が持参するもの

品名	寸法又は規格	数量	備考
作業着(上・下)		1 着	
作業靴		1 足	

(注意)

- ・持参するものは、上記のものに限るが、同一種類のものを予備として持参することは差し支えない。
- ・障害特性により、競技参加において必要とする補助具等がある場合は、事前に事務局に申し出ること。ただし、競技の公平性や、会場設営の都合等を考慮した結果、必ずしも希望に沿えない場合があること。
- ・これらの補助具等は、競技者自身が持参し、大会当日に競技委員立会いのもと導入する。ただし、導入に関して不具合があっても特別な配慮はしないこと。

課題1 カーペット床清掃及び机上清掃

時間：9分

作業仕様1－1

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	作業に必要な資機材はすでに会場に準備されている。 (必要な資機材及び数量は資機材一覧表を参照のこと) ウォンド・吸い込み口は事前にホースにセットしてある。	資機材が過不足無く準備されているか点検し、異常があれば申し出る。	資機材の点検終了後、係員の指示に従い、所定の位置に立つ。
競技開始の挨拶	審査員の始めの合図で所定の位置に立ち「始めます」と挨拶を行い、競技を開始する。	片手をあげ、礼をする。	「始めます」と作業開始を申告する。
作業準備	作業用カート（以下カート）を保管場所から作業場所の近くへ移動し、作業標示板を立てる。 真空掃除機を保管場所から作業場所の近くへ移動し、コードを外し、プラグをコンセントに差し込み、始動点検を行う。	所定の位置に作業標示板を立てる 吸込み口に手をあて、風量があるか点検します。	
入室の挨拶	入り口にて、室内に向かって入室の挨拶を行う。	「失礼します」と一礼し、入室する。	声を出して申告する。
イスを机上に乗せる	作業前にイスを机上に乗せる。	机からはみ出さないように机上に乗せる。	安全に留意する。
吸塵（真空掃除機）	まず外側から入り口付近を吸塵した後、作業場所へ入る。 室内での作業手順は、カーペット床作業手順のとおり行う。 前進しながら吸塵作業をする。 作業が終了したら掃除機を室内より出してプラグを抜く。	ごみを踏まないように広めに足場を確保する。 吸込み口を床に強く押しつけない。 机の下に当てないように適切に吸塵を行う。 本体は手で持って移動する。 プラグを持って抜く。	ごみはシュレッダーで裁断したものを50 mL程度撒いてある。 掃除機のコードを持って抜かない。
イスを元の場所に戻す	安全に音を立てないように元の場所に戻す。	安全に留意して下ろす。	
机上拭き	青色のタオルを八折りして持つ。 机上を青色のタオルで水拭	タオルが汚れたら、きれいな面を出して拭く。 机の縁を含めて、四隅か	イスは作業の邪魔にならないところに移動する。

	きした後に、白色のタオルで乾拭きを行う。	ら中央へと拭く。 横拭き・縦拭きを行う。	
点検	指差し及び目視点検を行う。	資機材の忘れ、ごみの取り残しがないか点検する。	声を出さないこと。
退室の挨拶	出口にて室内に向かって退室の挨拶を行う。	「失礼しました」と一礼し、挨拶を行う。	声を出して申告する。
資機材の片づけ	掃除機のコードを巻いて、掃除機をカートに戻す。 作業標示板をカートに収納し、作業カートを保管場所に戻す。	床にコードが接触しない。	
終了挨拶	所定の位置に立ち、終了挨拶を行う。	「終わりました」「終了しました」等の意思表示を行う。	作業終了を申告する。

課題2 弾性床清掃及びごみ処理作業

時間：9分

作業仕様1－1

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	作業に必要な資機材はすでに会場に準備されている。 (必要な資機材及び数量は資機材一覧表を参照のこと) ①ワンタッチモップ柄の長さを調整する。 ②ダスタークロスを乾式モップヘッドに装着する。 ③①、②は事前に準備する。	資機材が過不足無く準備されているか点検し、異常があれば申し出る。 ワンタッチモップ柄は所定の位置に立て、乾式モップヘッドは作業用カート上部の所定の位置に置く。	資機材の点検終了後、係員の指示に従い、所定の位置に立つ。
競技開始の挨拶	審査員の始めの合図で「始めます」と挨拶を行い、競技を開始する。	片手をあげ、礼をする。	「始めます」と作業開始を申告する。
作業準備	カートを保管場所から作業場所の近くへ移動する。 作業標示板を立てる。	所定の位置に作業標示板を立てる。	
入室の挨拶	入り口にて、室内に向かって入室の挨拶を行う。	「失礼します」と一礼し、挨拶し入室する。	声を出して申告する。
ごみ処理 (1) ごみ回収 (2) ごみ袋のセット	ごみ箱をカート付近に移動する。 ごみ箱にセットされているごみ袋を回収する。 回収したごみ袋をカートの袋の中に入れる。 ごみ袋のスペア袋をごみ箱にセットする。 ごみ箱は入口マットの上に置いておく。	ごみ箱は入退出の邪魔にならない場所に置く。 ビニール袋を正しくセットする。 ごみ箱は作業の邪魔にならないように入口マットの上に置く。	

除塵作業 (乾式モップ)	ダスタークロスを着用した乾式モップヘッドは入口の養生マットの上でワンタッチモップ柄に取り付ける。 乾式モップで、外から入口を除塵し、入室する。 室内での作業手順は、乾式モップ作業手順のとおり行う。ごみは前進しながら出口に向かって1か所に集める。 乾式モップヘッドをワンタッチモップ柄から外す。 使用済みのダスタークロスは乾式モップヘッドから外し、カートの袋の中に収納する。 ワンタッチモップ柄と乾式モップヘッドをカートに戻す。 小型ぼうきと文化ちりとりを使用し、集めたごみを回収する。 ごみの取り残しがないか点検する。 小型ぼうき、文化ちりとりをカートに戻す。	柄の先端は親指を添える。 乾式モップヘッドの辺は広いほうを先行させる。 入口のごみを踏まないように足場を確保する。 乾式モップは床から離さない。 使用済みダスタークロスはカートの袋の中に入れる。 ごみの取り残しがある場合は、小型ぼうきと文化ちりとりを使用し、回収する。 乾式モップヘッドはカート上部に、スポンジ面を上にし、邪魔にならないように置く。	ごみは、おがくずを50mL程度均等に撒いてある。 点検の際には声を出さないこと。
----------------------------	---	---	--

水拭き作業 (モップ)	コート内全体の床面を拭く。 室内での作業手順は、水拭きモップ作業手順のとおり行う。 コーナー周りと机の脚元はモップ房糸に手を添えて拭く。 モップ房は適宜裏返し、モップ房全体を使って拭く。 水拭きモップ作業は横拭きを基本とし、交代しながら拭く。	拭き残し、拭きむらのないようにする。 ワンタッチモップ柄の先端には親指を添える。 モップ房糸が幅木、机の脚部に触れないようにする。 拭いたところを踏まないようにする。 机の下は縦拭きもある。	
ごみ箱を戻す。	ごみ箱は元の机の側に戻す。		
点検	指差し又は目視点検を行う。	資機材の忘れ、ゴミの取り残しなどの点検を行う。	点検の際に声を出さないこと。
退室の挨拶	出口にて室内に向かって退室の挨拶を行う。	「失礼しました」と一礼し、挨拶を行う。	声を出して申告する。
資機材の片付け	作業標示板をカートに収納し、カートを保管場所に戻す。		
終了挨拶	所定の位置に立ち、終了の挨拶を行う。	「終わりました」「終了しました」等の意思表示を行う。	声を出して申告する。